

寿大学の弁当

高齢者が学ぶ「寿大学」。平均年齢70代半ばの学生さんたちのお弁当を拝見しました。栄養バランスが取れており、彩りも鮮やかなものはかりで、ほんとうにびっくり。いきいきとした表情の秘密が少しわかった気がしました。



この下はごはんです。

広報

ここのえ

2006

12



一年分を 一カ月で

九重 夢 大吊橋の 1カ月

予想以上、予想以上、予想以上……毎日予想以上、オープン1カ月、連日1万人を超える観光客が訪れた九重。夢、大吊橋が町にもたらしたものは何か。周辺を中心に点描します。(11月22日を中心に取材)

予想以内?

「他県のお客様に九重町を紹介するとき、どんな名所を挙げてもしんとこなかつたのが大吊橋だと反応がピタツときます。日本一のもので出来て町が元気になったと思いますよ。すばらしいです」

喜びの表情で話すのは、町内のホテル業者の一人。比較的規模の大きいそのホテルは、団体のツアー客の受け入れが可能ということもあり、大吊橋オープン以降は連日満室となっています。ただ紅葉の時期はいつも満室とかで、実際は「目に見えて効果があつた」というわけではなさそう。数字の効果はむしろこれから話します。

「12月から3月にかけてのお客様の予約の出足はこれまでに比べ好調ですね。お客様には雪景色の大吊橋は最高ですよと案内しています。春になったら新緑の大吊橋が最高というように、一年中、大吊橋が最高ですとお話ししていきたいと思ひます」

宿泊以外でも昼間の食事や立ち寄り湯の利用者が増えた旅館・ホテルがある一方で、その効果は近隣の観光地にも及んでいません。別府市のあるホテルでは12月半ばまで満室の状態。

「例年に比べて確実に多くなっています。うちは関東や関西からのお客様が多いのですが、問い合わせを良く受けます。11月に入ってからにはツアー内容を変更して大

吊橋を組み込むケースも良く見られました」(同ホテル関係者)

ただ、大吊橋観光に時間をとられ他の日帰り施設では逆にマイナスになってしまふケースや、やまなみハイウェイや高速道路沿いの観光地に効果が集中しそれを外れたところでは客足が減つたという声も。

「マイナスが出ているところも、状況が落ち着いていけばプラスに転じていくのではないのでしょうか。いずれにしても大吊橋は大分県観光にとって大きなプラス材料。私たちも積極的に売り出しのお手伝いをしていきたいと考えています」

明暗を分けた

規模と渋滞

旅館・ホテルがまとまった地域では大吊橋効果が現れているもの、それ以外のところではいまひとつとの観測も出ています。大吊橋から数キロはなれた部屋敷が5つの民宿経営者も「効果はないですね。昼間の立ち寄り湯も皆無です」と

「洗い表情。大吊橋を訪れる人の約4分の1が30人以上の団体客。ツアーに組み込みやすいところへ集中的に客が集まる傾向が出ており、飲食店についても大幅に増えたとする施設がある一方、固定客が多いという付近の小規模レストラン経営者は「うーん、平日は心持ち増えたかな、という感ですけれど、土日のお客さんはかえって減りま

▲待ちのお客さんが駐車場の外まで(11月4日)



いでしようか。そのことを想定した早め早めのことを考えていかないと……」

子どもが心配

飯田地区の公共施設が集中する中村上。大吊橋から約1キロ離れたこの一帯も連日渋滞。児童の4分の3が路線バスでの通学という飯田小学校では、連日遅れるバスに気をもんだと振り返ります。

「最高1時間半遅れたこともあります。バスから降りて3キロ歩く児童もいるのですが、この時期は日が暮れるのが早いので、大変心配していました(学校関係者)」

このため、町では急ぎよ大吊橋へのシャトルバスを通学バスに割り当てて対応をし、不安解消に努めました。また、臨時駐車場から大吊橋の途上に同校があるため、トイレを借りる人が多かつたのも心配の種。

「困っているから、貸さないわけにはいかないのですが、もしこの中に不審者が紛れ込んでいたりしたらと考えると気が気でなかつたです」

一方、自転車通学の多い飯田中学校では、特に帰宅の時間帯で事故にあふ危険性が高まつたため、発光性のあるタスキを全校生徒分購入、配布しました。

飯田小学校では連日の渋滞に、12月1日に行われる恒例のマラソン大会の中止も検討しましたが、





連休が怖い

3週間程度で収束したため予定通り実施。いつもの風景がとりあえず戻ってきました。ただ、観光シーズンが訪れば再び繰り返すことが予想され、「子どもたちが安心して登下校できる体制を改めて考える必要がある」と学校関係者は表情を引き締めていました。

本来なら経済効果が大きいのと思われた付近の商店。しかし、連日の渋滞で大混乱となりました。「10時から3時までが1日で一番のかきいれどきなのですが、地元のお客さんが店に来ることができ

ずに売上げが激減しました」。こう話すのは、大吊橋から数百メートル離れた商店経営者。同店の主力商品が弁当をはじめとした惣菜類。しかし、売上げが見込めなくなっただけに2週間以上販売を中止する事態に追い込まれてしまいました。

「大吊橋が開通するまではとても楽しみにしていたのですが、まったくの期待はずれでした」と表情も曇りがち。周辺の商店もほぼ同じ状況で、一時閉店したところも。「珍珠や小国に買物に行くほうが近い」という声さえ聞かえてきたといいます。大賑わいの中心にいなながらも、置いてきぼりを食らったかたに、商店関係者は「行き場のないむなしさや寂しさを感ずる」とこぼします。

「私たちも大吊橋と一緒に盛り上げていきたいという気持ちでいっぱい。町の大変な事情はよくわかってはいるのですが、地元にも目を向けてほしいです。まずは一緒に話せる場をつくってもらえたら」。売上げが伸び悩む冬を控え、乗り越えていけるのかという不安が高まっていますが、新たな心配も出てきました。

「観光シーズンや連休が、またこうなってしまうのじゃないかと思うと・・・連休が来るのが怖いです」

地元住民も連日の渋滞に強い表情。高齢者が多い地区だけに、急



▲11月22日、この日30万人突破

病人などが出たときはどうなるのか、とても心配でした」

こう話すのは付近に住む80代の男性。

「今は田んぼをすくのに一番いい時期だけど、車がひっきりなしに通るので田んぼまでいけず作業が遅れてしまいました。良かったという事はなかったですね。でも、来年は良くなるだろう。そう考えてガマンしています」

1年分を1カ月で

九重「夢」大吊橋の経済効果。その裾野の広がりはこれからのよ

の始まりを感じさせる冷たい風が吹いても、やはり多くの観光客で大吊橋はにぎわっていました。多忙を極めたこの1カ月を振り返り、町関係者が漏らしたこんな言葉が印象的。

「地域のみなさんに喜んでもらえるものを作っていかなければ」町では大吊橋をめくり出てきた一連の課題に対し、対策本部を設置。解決に向けた取り組みを着実に進めていきたいと思います。

最後に町内の旅館・ホテルなどに食品を卸している商店経営者の話。前年同月比で売上げが1.5倍に伸びたと言うものの・・・

「実際の数字は1.2倍かもしれない。ただ、心理的に1.5倍くらいじゃないかと思うんです。大吊橋でやる気をもらって言うのかな。その分を加味して。自分も県外の友人・知人から問い合わせを受けたりして、町の魅力を再発見できたし、改めて誇りを感じることもできました。そういったお金で表せないものが実はとても大きいと思います」

九重「夢」大吊橋はその後も順調に客足を伸ばしており、12月3日には40万人を突破。11月下旬からは周辺の渋滞もほぼ解消されています。

11月8・9日に三重県で行われた「第48回自然公園大会」で、高橋裕二郎さん（中村上）が「自然公園関係功労者環境大臣表彰」を受けました。

「自分たちが好きで楽しみながらやってきただけです。それが結果につながったのかな」と嬉しそうに表情の高橋さん。国立公園内の希少野生植物保護や美化活動、その中でも「野焼き」を続けていることが特に評価を受けての受賞でした。町内での受賞は1997年の嶋田裕雄さん（釜の口）に続いて2人目。

1934（昭和9）年、「美的見地」により指定を受けた「阿蘇くじゅう国立公園」は大分県と熊本県にまたがっており、総面積は7万2678ヘクタール。阿蘇を中心とする火山地形と飯田をはじめとした九重の高原地帯で構成され、後者にはサクラソウやヒゴタイ等多種類の植物が生息。大分県内だけでも年間600万人が訪れています。

高原の自然は人々との共生によってこそ保たれるものとされており、その代表的取り組みが「野焼き」。草原は何かしらずと森林に移行していくといわれています。野焼きは低木の繁殖を抑えるとともに、牛馬が好むイネ科の植物の成長を促すのが目的。以前は集落行事として定着していたものの、牛を飼う農家が減ったことなどから徐々に見られなくなり、飯田地区では1980年頃から途絶えていました。それを1997年に復活させたのが高橋さんをはじめとした地元実行委員会（高橋さんは飯田高原野焼き実行委員長と坊ガツル野焼き実行副委員長）。

「誰かがやらねえといけねえし、続けることに意義がある。そのことで初めて植生が保たれるわけです」

野焼きは、湿原の陸地化を防ぐ効果もあり、そのことが昨年の「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」のラムサール条約登録につながったのは間違いないこと。

野焼きは、「輪地（わち）切り」という事前の下準備が実は一番大変。延焼を防ぐため幅10メートルほどの「輪地」と呼ばれる防火帯を作るもので、その多くが急傾斜での作業となるため危険が伴い、重労働。飯田地区では、毎年50人ほどが出て1日ばかりで総延長約1万メートルの輪地切りをします（野焼き面積は約500ヘクタール）。再開して10年。雑木などが生えて草原でなくなりかけていた一帯もかつての姿を取り戻しています。

「楽しみながら、
気長に」を
これからも



環境大臣表彰
を受けた
高橋裕二郎さん

「野焼きした草原は、そりやもう全然違います。草一面がやわらかく、風にそよぐ様はなんともいえない良いものがあるね」

川端康成は飯田の秋を「高原にやわらかい紫がただよっているよう」と表現しました。また、野焼きの黒からみずみずしい緑一面となる初夏の風景を「山全体が女性的で、

なまめかしい」と発言した記録も残っています。

高橋さんが自然保護活動に携わり始めたのが約40年前。当時、九重山系の主だった山々にはゴミが散乱していました。やがて自身も所属する「九重の自然を守る会」がゴミの持ち帰り運動を提唱。

「この運動は日本でも早かった方。今では登山客のマナーも良くなって、九重の山は他に比べ、ゴミの量も少なくなりました。自分にとって自然とは生活の場。自分の部屋を掃除するのと同じです」

登山道の補修や道しるべの整備、トイレの汲み取りなどもしてきました。

これら活動の原点となるのが、自然を守る会初代理事長の赤峰武さんとの出会い。

「山とかを見て、きれいだなあという正直な気持ちを大事にして、それを行動に移すというのかな。それに無理をせずにできることから始めればよいというのを学びましたね。これからは気長にのんびりと続けていきます」

「九重 夢 大吊橋」も、訪れた人が自然の美しさに触れ、大事にしたいなあと思ってくれることを願っています。

「タデ原にある遊歩道と大吊橋は同じものなんですよ」高橋さんは「NPO法人トキゆめプロジェクト」の理事長としても活躍中。日本で絶滅したトキの住めるような環境を取り戻そうと、トキの人工増殖に成功した中国の陝西（せんせい）省との交流も深めています。

「スパンの長い運動だから、子どもたちと一緒に取り組む必要があります。飯田の子どもたちによく話をするとすよ。一番高いところに住む自分たちが水を汚さないことで、野上や東飯田、珍珠に住む人がきれいにしようとなり、それが日田の人につながり、久留米に行き、最後は海がきれいになる」

飯田高原では汚れた水を好むとされるサギやトンビが目撃される一方で、以前はよくいたイヌワシを見かけなくなつたといえます。また、セイタカアワダチソウなどの外来種が入ってくる傍ら乱獲などによりセンブリが激減するなど生態系の変化も見られています。

「表彰をもらったからこれで終わりでも結果が出たわけでもない。ほんの過程に過ぎないと考えています」

地域とともに 45年



大分県永年勤続
功労者顕彰を受けた
帆足三郎さん

今年度の大分県永年勤続功労者顕彰に原田電気商会有限公司（野上）の帆足三郎さん（中県）が選ばれ、11月14日に大分県玖珠総合庁舎で表彰式が行われました。

帆足さんは高校卒業後ほどなくして原田電気商会に就職。高度経済成長前後の昭和35（1960）年、テレビの本格普及が始まった頃で、難視聴地域解消に向けて手製の器具を

持ち駆け回っていたのが懐かしいと振り返ります。

「この仕事に入ったのもテレビがきっかけでした。時代の先端を行っており、これは将来必ず必需品になるし、地域の役に立つものだと思っていました。実際に子どもからお年寄りまで喜ぶ姿を見てみるとテレビの偉大さも感じていますね」

当時は白黒テレビが主流。カラーテレビの普及にはまだ

数年の月日を要します。

それから45年。身の回りに家電製品があふれかえる現在の状況はまったく想像していません。今やパソコンが当たり前にある生活。

「パソコンの普及で漢字を忘れてしまったりするのを見ると、ちよつと行き過ぎかなあと思います。家電全般に使えるのですが、便利になるのはいいけれど、全部機械任せにするのでなく、先代の人たちが残してくれた知恵などを見直すべきだとは思いますが、機械に使われるのでなく、機械を使うことの意味を改めて考える必要があるようです」

最近は大店などに押され、街の電気屋さんはどこも苦戦。ただ、高齢化時代を迎え、修理依頼はむしろ増えているといえます。原田電気商会では6年前から粟野でリサイクル店を展開。こちらも好評です。

「今回の受賞は地域のみならずのご支援のおかげと思っておりますが、これからも地域密着の経営をしていくことが進むべき道と思っています。光陰矢のごとしの45年でしたが、最近就職してもすぐにやめていく若者が多い中、続けることの喜び、価値というかな。そんなものを伝えられたらと思います。元気に、精一杯、やれるだけやっています」

きれいな政治、
金のかからない投票箱
政治の実現、
そして
選挙の公正の確保のため、
政治家の寄付行為は
禁止されています。



- * 政治家（候補者、候補者になろうとする人及び現に公職にある人）は寄付をすると処罰されます（自ら出席する結婚披露宴での祝儀や葬式などの香典は除く）。
- * 政治家は年賀状等の時候の挨拶状を出すことを禁じられています（答礼のための自筆によるものは除く）。
- * 有権者は威迫や陰れる目的で、政治家に対し寄付を求めると処罰されます。
- * 後援団体が花輪、香典、祝儀などを出す処罰されます。
- * 政治家や後援団体が、有料のあいさつ広告を出す処罰されます。

総務省・大分県選挙管理委員会
九重町選挙管理委員会

九重町では昨年4月に政治倫理条例を施行し、町議会議員や町長、教育長などが次のような行為をすることを禁じています。

- * 町が行う許可や請負契約などで、特定の企業や団体への有利な取り計らい
- * 町が行う公共事業に関わる業者の協議会や懇談会への出席（公的任務を除く）
- * 町職員の公正な職務執行への妨げや影響力の不正行使

■総合窓口で新たに発行されるのは次のとおりです。

12月28日までの窓口	項目	発行する証明書
税 務 課	個人住民税	①課税証明書
		②所得証明書
		③所得課税証明書
	法人住民税	①事業所証明書
	軽自動車税	①納税証明書
	固定資産税	①評価証明書
		②公課証明書
		③固定資産税額証明書
		④課税証明書
		⑤無資産証明書
⑥名寄証明書		
⑦資産証明書		
⑧名寄資産証明書		
収納証明書	①納税証明書	
手書による証明書	①手書証明書(税務関係)	

*確定申告の際に使用する「国民健康保険税及び介護保険料の納付証明書」、「字図の閲覧等」は税務課で行います。

金曜日は午後6時まで

ふれあい生活課と
税務課の窓口延長

3月31日までの毎週金曜日(祝日の場合は前日)、ふれあい生活課と税務課(1月からは、ふれあい生活課総合窓口係へ一本化)の窓口時間を午後6時まで延長し、各種証明書の発行業務をします。

*発行できない証明書もあるので、事前に電話で確認をお願いします。

問い合わせ ふれあい生活課 ☎ 76-3802
税務課 ☎ 76-3803

1月から税務課証明書は
ふれあい生活課総合窓口で発行します。



38
歩手前で

1月4日から、納税証明書などの税務課証明書は「ふれあい生活課総合窓口」で発行するようになります。

12月のハート降る♡JIJIKU

道端の動物

匿名希望

もう10年以上も前のお話ですが、朝、職場の駐車場に動物の内臓のようなものが落ちていました。事務室に入りそのことを気味悪そうに話していたら、上司がとても穏やかな笑顔で、それは自分だと言います。それ以上のことは聞けずじまいに、後から事情を知っている他の方が話してくれました。その上司は、自分の車にいつもビニールシートとスコップを入れていて、通勤途中であるうと、私用の運転中であるうと、動物が車にひかれて死んでいるのを見つけると、拾って埋めてあげているのだそうです。もともと動物が好きではない私には、とてもできそうにないことでした。

それから数年経ち、違う職場で出会い友人になった人の話です。その人も、動物が大好きで、捨てられた動物や虐待された動物の話を見聞きすると、どうにかならないかと心を痛めます。先日、自分の家にとどき来ていた野良猫が子どもを生んだそうです。しかし、その親猫は近くの道で車にひかれて死んでしまいました。その人は、(勝手に名づけた)名前を呼びながらその猫を抱えて連れて帰り、自分の家の庭に埋めてあげたそうです。「残された子猫たちを立派に育てるからね」と約束した...

道端の動物の遺体は、通り過ぎれば誰かが役所に連絡して次に通った時にはなくなっているけれど、あの頃の私の上司も友人も、放っておけばもっと無残になっていく姿を見過ごすことができなかったのでしょうか。生きていますから備付け、命を奪う人も絶えない世の中に暗い気持ちになる一方で、命の絶えてしまった生き物の、最期の姿の尊厳を大切にできる人がいることに希望を持ちたい思いがします。

伝えたい「ちょっといい話」「心あたたまる話」をぜひお寄せください。町内各所に投稿用のボックスを設置していますので、そこに投稿するか、「ハート降る♡このえ」メンバーへご連絡ください。
連絡先 佐藤明郎 (☎76-2526)
郵便の場合は次のところへ。

〒879-1489
九里町役場企画調整課 広報グループ

第12回 九重ふるさと 祭り



佐世保市の海産物中卸業者の模擬せり売り。たとえば市価2万円は下らないと思われる大鯛が2000円など超破格値。会場は祭り一番の興奮のつぼに。そりゃそうですわね。



九重ふるさと自然学校準備室は、自分たちで作った有機無農薬米で作った焼きおにぎり。手作りのミソやしょうゆを塗ってこんがり。もう、たまりません。最高です。祭り一番のおいしさ。6個食べた人もいました(自分です)。完売です。



会場付近では福岡市を中心に活躍するチンドン屋「アダチ宣伝社」が練り歩き、祭りをアピール。

恵みをたぐひらこし。

今年で12回目となる「九重ふるさと祭り」が11月5日にA飯田駐車場で行われ、約3000人が訪れました。

九重 夢、大吊橋オーブン記念と位置づけた今回は、例年会場にしていた活いきランド多目的グラウンドが団体に向けた改装工事中で使用できないこともあり、「第35回飯田地区農業祭」と共催。しかし、大吊橋オーブン直後の連休中の開催とあり会場周辺は終日観光客でこった返し、車も大渋滞。飯田地区以外はもとより地元住民も会場に近づくことがなかなかできず、「町民総参加」を掲げたふるさと祭りからすると、少しさみしい結果になりました。町関係者も「こまめで観光客が多いとは予想していなかったとはいえ、反省すべき」とした上で、見直しをしていきたいと話していました。

一方、会場内ではいつものように「収穫の秋」を楽しむ住民の姿が見られました。ステージ上では下旦祇園囃子をはじめとした郷土芸能や歌謡ショーなど、会場内では野菜の直売やバザーが盛りだくさん。祭りの最後は、姉妹都市の佐世保市から参加した海産物中卸業者の模擬せり売りがあり、新鮮な魚介類が市価の数分の一の破格値で売り出し、会場は大いに盛り上がっていました。



姉妹都市の佐世保市にある長崎県立大学から「リズム戦隊メロディアス」が登場! 結成2年目。夢や希望を踊りにこめて日夜活動中。この日も九重町の平和を守るための必殺メロディアスマイル! 前列の矢印は九重町出身の野木加奈絵さん。



飯田小学校のみなさん。沖縄に伝わる勇壮な踊り「エイサー」の人気曲「ミルクムナリ」。そして高知の「よさこい祭り」と北海道の「ソーラン節」がミックスして生まれた「よさこいソーラン」を踊り、会場を盛り上げました。

暖房器具は 安全に!

11月の番



寒さが少しずつ厳しくなり、暖房器具の暖かさが恋しい季節になりました。そこで寒い冬の必需品、暖房器具の取り扱いについての注意事項をあげてみました。暖房器具の取り扱いには十分注意してください。

- ① 石油ストーブやファンヒーター、電気ストーブ等を、燃えやすい物のそばに近づけない。
- ② ストーブの上で衣類などを乾燥させない。
- ③ 使用前の前に掃除をし、ほこりなどを取っておく。
- ④ 給油を行う時は必ず火を消して給油する。また、灯油とガソリンの容器は区別して保管し間違えないようにしてください。
- ⑤ 対震自動消火装置のついたものを使用しましょう。
- ⑥ 石油ストーブ、石油ファンヒーター、ガスストーブ等の燃焼暖房器具を使用する時は、室内の換気を十分行ってください。

以上のような注意事項を守り、正しい暖房器具の使い方をして、寒い冬を快適に過ごしましょう。

よみ
昭和三十二年
がえる

九重町

1958（昭和33）年に発表された映画「張込み」。松本清張の同名短編小説を、野村芳太郎監督がメガホンをとり映画化したこの作品は、日本映画史に残る傑作としてだけでなく、これ以降の「砂の器」をはじめとした松本野村コンビの名作の数々を生むきっかけとなった記念碑的作品としても語り継がれるものです（現在DVDで入手可能）。実はこの「張込み」。50年前の九重町の姿を記録した作品として見逃せません。

「張込み」は、質屋殺しの犯人（田村高慶）、それを追う二人の刑事（宮口精二・大木実）、そして犯人の以前の恋人（高峰秀子）を中心に展開され、その終盤で舞台となったのが、宝泉寺温泉をはじめとした九重町。ただ、一見してわかるのは釜の口温泉のシーンのみで、他の場面はあま

りの変わりようにすぐには特定できず、50年という月日を感じざるを得ないのが正直なところ。

清張ファンが集まる「松本清張の会」（約1000人）では、この「張込み」にちなんだロケ地バスツアーを来年秋に計画。場面ひとつひとつを2カ月以上かけ検証し、ほぼすべてのロケ地の特定に成功しました。その中心となったのが同会会員の安川浩孝さん（福岡県宇美町）。今年7月から10回以上にわたり九重町を訪れ、フィルムに写った山の姿などわずかなヒントや地元の人々の聞き込み調査などからロケ地の洗い出しを丁寧に行い、当時エキストラ出演した人や宿泊した旅館で俳優を世話した人なども取材。貴重な写真や思い出話などが満載された資料も完成しました。安川さんは喜びの表情で、「一つひとつを検証することで、作品作りの全体像が見えてきました。まさに『点と線』ですね。ちなみに『点と線』は清張の代表作。

当時の新聞によると、九重町ロケは1957（昭和32）年9月から10月。宝泉寺を中心に黒猪鹿、口の園、九酔漢、麻生釣、釜の口、豊後渡しで撮影。九州内の数箇所候補地の中から、野村監督が自分のイメージが一番近いと九重町に決めたもので、作品として残ったのが30分ほど（2巻分）。真夏のシーンの撮影のため、寒波の中震えながら撮影したなどのエピソードが残されています。大スターが直接見られるというだけで、多くの人が見学に訪れ、今でも強烈

に記憶に残っている人もたくさん。「車を降り立った高峰秀子の白いコート姿が華やかで忘れられない」といった声が寄せられています。作品には国鉄宮原線にS1が走る姿なども納められており、当時の九重町の動く姿を捉えた資料としても一級。

「松本清張の会」では、引き続き情報提供を求めています（連絡先・安川さん092-1934-3977）。



10月15・16日には「清張の会」6人で下見。ロケ地探しにかけるあまりの情熱に安川さん（左から2人目）は会のメンバーから「安川刑事」と呼ばれていました。

傑作映画の中の九重町

ほんとうに

いい旅

でした。

ポニーと一緒に歩いて九州一周にチャレンジしていた二人の若者がついに達成。11月8日にゴールしました。

町内の乗馬施設「エルランチョグランデ」で働く茂山哲さんと吉田裕章さん、そしてポニーのシバちゃん（オス18歳）は8月26日に九重町を出発。野宿生活をしながら各地の施設などで馬に触れることで癒しを与える「ホースセラピー」を実施。歩いた距離は2000キロ以上。「みなさんのおかげで無事着きました。ほんとうにいい旅でした」と二人。お金を使わないのがルールで、各地で声援だけでなく差し入れもたくさんありました。

「人ってこんなに温かいんだと思いました。お金を使わない旅だっただけに、人情に直接触れることができ、旅をやり遂げることが一番の恩返しとと思ってきました」（茂山さん）

一番辛かったのが福岡市でポニーのシバちゃんがケガをしたことと二人は回想。背中の荷物が災いし「鞍（くら）擦れ」を起こし獣医からも旅をやめたほうがいいと警告を受けたものの、エルランチョグランデかかりつけの獣医に診てもらったところ、5日ほどで回復。その際に獣医にお礼として出した缶コーヒー120円がこの旅で使った唯一のお金になりました。以後の

素朴の中の 洗練

キーワードは「自信のだんご汁」。
九重・飯田高原観光協会が2カ月間
にわたり料理研究。その成果が10月
23日に発表されました。同協会は長
者原一帯を中心とするホテルやレス
トランなど15施設が所属。自然に恵
まれた環境にありながらこれまで、
その魅力を十分に伝えきれていない
ことや逆に依存しすぎるあまりに食
をはじめとした文化への取り組みが
弱くなりがちといった課題があった
といえます。これらの課題を「食」
によって克服し、合わせて懸案とな
っていた農業など地元他産業との連
携強化を図るのが今回の取り組みの
ねらい。

観光協会では町の人材育成事業を
活用しながら、地域の農産品を生か

せる料理人を育成するため、野菜・
果物の扱いに詳しい「日本ベジタブ
ルフルーツマイスター協会」の山形
有莉絵さんを講師に経営者や支配人・
料理長を対象とした研修を行ったほ
か、各施設の訪問調査や食材の生産
現場5カ所を取材。その中で地元食
材を盛り込んだだんご汁に着目。こ
く当たり前に求められる料理がゆえ
に自信を持って出すことのできるだ
んご汁を施設ごとに考案するととも
に、地元食材を使った「地産地消費
理」も開発。これをバックアップす
るために食材の収穫可能時期や特徴
などを記載した「旬菜ごよみ」の作
成も決まりました。

観光や農業関係者約50人が集まっ
た発表会では15施設のうち7施設が
成果を発表。その中心となるだんご
汁の試食会が行われました。だんご
汁は、家庭的なミソ仕立てからしよ
うゆ仕立て、さらにはイタリア料理
をイメージしたクリームシチュー風
まで様々。いずれも50歳ぐらいの自
然好きの女性をイメージして作って
おり、軽やかさが印象的。特にだん
ごは施設ごとに練り方を工夫したり
ジャガイモなどを練りこんだりする
など、どっしり感を少なくする工夫
をしているとのこと。日頃、だんご
汁を食べている人にとっては、どっ
しり感やだんごのコシが足りないの
の声が一部にあったものの、素朴の
中にも洗練を感じる味に大満足。逸
品の数々でした。

「これからは本物の
時代。食材の作り手や
その土地の見える、物
語性のある料理が喜ば
れるはず。それは農業
と観光が一体化するこ
とで実現する」とある
参加者。

物語性のある本物の
食材で作っただんご汁
すでに販売を始めたど
ころもありますが、こ
れから徐々に売り出し
ます。



九重・飯田高原観光協会 の料理研究

旅には福岡市で借りたりヤカーが加わり、二人
は体調を崩すこともなく、ほぼ順調だったそう
です。各県で1回は警察に通報されることもあ
りました。「最後は慣れました(笑)」。

旅を終えた二人はそれぞれの道へ。茂山さん
は時代劇役者を目指しており、「この旅でのみ
なさんの応援が自分の力になりました。壁にぶ
ち当たっても、このことを思い出し必ず乗り越
えます」。吉田さんは、当分はエルランテヨグ
ランドに残り、将来はホースセラピーなどを取
り入れた福祉関係の仕事を目指すといいます。
「旅をやり遂げたことが自分の自信になりました」
した。人との出会いで大きく成長できました」
(吉田さん)

ゴールには佐賀や鹿児島で二人を支援した人
たちも駆けつけ祝福。その中の一人からチョコ
レートもらった吉田さんは飛び切りの笑顔で
「疲れたときには、これとバナナの組み合わせ
が最高なんですよ!」。
最後に、人間で言えば60歳のシバちゃん。き
つと、楽しかった旅のことをゆっくり思い返し
ていることでしょう。

自助





33の場面で構成されるこの神楽の休憩等を挟んだ本来の総上演時間は2日間、これを今回の催しでは6時間強に短縮するため、2回舞うところを1回にしたり解説を入れたりするなど、その多様さを理解するとともに個々の場面の魅力もたっぷり味わえるように工夫。会場は時おり虫の音も聞かれる野趣あふれる雰囲気。そんな中、訪れた約150人は、午前0時過ぎまで、しばし古(いにしえ)の世界に浸っていました。

高千穂神社(宮崎県)をルーツとする玖珠神楽が始まったのが江戸中期。明治以降、神職による神楽奉納が禁止されたことなどから、いくつかの変遷を経て、大正9(1920)年に引治地区横尾へ移管。郡内で見られる他の神楽に比べ土臭さがなく、物腰の柔らかさ、優雅さを特徴としており、また演劇的要素が入っており、古典的要素が強く、衣装も独特。現在、20代から70代の14人により伝承されており、郡内の秋祭りなどの催しの際に披露されています。

九重町に古くから伝わる玖珠神楽を夕方から深夜まで上演する催しが10月28日に富迫天満神社で行われました。地元地域づくりグループ「富迫青年会」が主催したもので、一昨年に続き2回目。例年この時期に開催していた「コスモス祭り」が道路工事のため困難になったことと、青年会の新入会員の「何かやりたい」という熱意が今回の取り組みのきっかけになったと関係者。会場へ続く沿道には地元の高齢者たちが竹提灯250本を設置し雰囲気盛り上げたほか、女性たちも郷土料理を準備。地域住民総参加の催しになっていました。

白イノシシで
猪突猛进



来年の干支はイノシシ。数千等に1頭という大変珍しい白イノシシが宝八幡宮(松木)の境内に飼われることになり、11月16日、その「お披露目式」がありました。この白イノシシは3年前宝山で捕獲したのを藤原三治さん(川下)が飼育していたもので、体長約1メートルで体重は約80キログラム。「白は縁起のいい色だし、来年の干支でもあるのでみんなに見てもらえたら」と同八幡宮で飼育することを思い立ち、藤原さんが所属する地域づくりグループ月次(つきなみ)会や豊後七福神会などとともに企画。「お披露目式」には12歳から96歳の10人の年男・年女をはじめとした約50人が参加。その中で藤原さんは「町の活性化に少しでも役に立てたら、イノシシのように来年は九重町全体が活気のある年になりますように」とあいさつ。年男・年女を代表して東飯田小学校5年生の玉井遼菜さんが「来年は6年生になるので低学年のお世話をし、三味線と習字もがんばりたい」と抱負を述べたほか、白イノシシを「シロくん」と命名することが発表されました。

宝八幡宮の近くにある龍門では、九重・夢・大吊橋効果で観光客が増え、来年はこの一帯も活気がさらに増しそうです。藤原さんが製作したイノシシ小屋(8平米、ブルー付き)では一袋1000円の餌も販売。会場ではこんな声がかまれました。

「餌代が20億たまったら、橋をつくります」
夢は大きいほうが良いですね。

春が来た...かな?



冬を飛び越えて、一気に春よ来い。男女の出会い事業「九重に春よ来い結婚大作戦」が11月12日に行われ、町内から結婚をしたい27歳から49歳までの男性が集合。福岡県や大分市など町外から訪れた女性17人と交流しました。

町から委嘱を受け結婚相談などをする「若者定住アドバイザー(大隈公武代表・8人)」が中心となり結成した実行委員会が主催したもので、参加者は役場庁舎で男女がお互いにもれなく1分30秒以内で自己紹介をした後、九重・夢・大吊橋観光へ。移動のバスの中でも交流ができるよう席の配置を工夫するなど「なるべくたくさんの人と、じっくり話せるように配慮しました」と実行委員。役場庁舎へ帰り、約1時間の軽食パーティーの後、いよいよ告白タイムへ。途中ルールが変わるなど、少し混乱したものの無事何組かのカップルが出来たようで、終了後、携帯電話の番号を教えあう姿が随所に見られました。まずは成功。

「今後は男性のがんばりに期待。結果次第ではまたの取り組みも考えてみたいし、好感度アップの研修もいいのでは」(実行委員)

楽しかった1週間

「友だちと話していると、すぐに時間が経つ。テレビを見たいとは全然思わないよ」

子ども同士で一緒に泊り込み、地域住民とのふれあいや生活体験を積むことで子どもの成長を促す「通学合宿」が11月5日から11日までの1週間、東飯田公民館で行われました。

合宿したのは東飯田小学校4年生から6年生までの13人で、3班に分かれ活動。食事作りは地元的生活改善推進員や保護者が毎回6、7人加わり指導。その中の一人は、「最初の日は、気分が高ぶっていたせいか、遊んでばかりでなかなかしてくれなかったのですが、次の日からはきちんと自分からするようになりました」。この合宿は親と離れて生活することでお互いの存在の大きさを確認しあうのも目的。ある親は「この体験で、普段当たり前のように世話してくれている人の有難みを感じてほしいです。手伝うときもよだきからずからね（笑）」。

通学合宿は一人でするゲーム機を持ち込みは禁止。テレビもありません。夜はどんなことをして過ごしたの、と聞いてみると「怖い話とまくら投げ」。

いつの時代も子どもは変わらないものです。



▶ 大力あかりカメラマン（東飯田小6年生）撮影

SCRAP

保護者熱演

この文化祭は午後には何かが起こる。第31回南山田小学校文化祭が11月12日に同校体育館で行われました。午前中の児童の発表。ここまでではどこでも見られる光景。しかし午後になると雰囲気が一変。舞台の上には、厚化粧をし、華麗(?)な衣装に身を包んだ保護者や教職員が登場。昔話をベースに趣向を凝らした劇や踊りを披露します。これは同校文化祭の恒例で、今年も保護者が出身別に4地区に分かれ、約1カ月前から猛練習。普段見ることのない保護者の姿に児童は「とってもおもしろい」と大喜びでした。

学校、保護者、地域が特に一体化しているといわれる同校。「会議などへの保護者の出席率がものすごくいい」といった声からもこのことが伺えます。その要因のひとつが文化祭なのは確か。会場では案内を受けた地域の高齢者の姿も多数見られました。学校関係者も「親が真剣に練習して熱演する姿は、児童たちに何らかのプラスになっているはず。学校運営への保護者参加の面でも効果が大きい」。この保護者は舞台を下りても熱い。

News



Scrap book

各分野から寄せられたニュースを集めました。



「懐かしの風景」で防災

SCRAP



共助

幸いこのやぐらの出番はまだなし。同地区区長の江藤重太さんは「地域の防犯・防災のシンボルにしたい」と話していました。

昔はどこにもあったといわれる火の見やぐら。最近はずっかり見かけなくなりました。東飯田の野倉地区では、この火の見やぐらを復活。穂やかで安心できるムラづくりをめざしています。

同地区は、かつて林業が栄えたところ。しかしその衰退とともに人口も減り、現在は15戸。そのうち1戸に20代がいるのみで、その上は一気に50代。ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増え、防犯・防災が同地区の大きなテーマとなっています。そこで着目したのが火の見やぐら。高さ7メートルほどで、腐りにくいとされるクリの木を使用。てっぺんには、かつて同地区にあった宮林署から払い下げた終戦直後に作られたと思われる鐘が付いています。昨年からの準備を進め、今年10月22日に製作。地元大工の手を借り、構造的に問題がなく、子どもが登って遊ばないようにハシゴの一番下の段を外す配慮もしています。鐘は全世界に聞こえるようになっています。

同地区では、土石流の危険も取りざたされており、日常的に避難経路の確認などを行っており、火の見やぐらを設置したことで、より強固な防災体制をつくりたいとしています。

野上一番のお祭りにしたい

SCRAP



のがみ文化祭が11月11・12日の2日間、野上小学校体育館で行われ、野上地区内の子どもから高齢者までの絵画や手芸など約250点を展示。12日には芸能発表があり、14団体延べ90人がステージに立ちました。

この文化祭は、公民館活動の輪を地区全体に広めようと、以前の「公民館祭り」を一新したもので6回目。年々中身が充実しているものの、地区全体の広がりまではいっていないのが実情のようです。一番の課題は若い人の参加が少ないこと。スタッフ確保の面でも毎年苦労をしているそうです。この現象は野上だけでなく、全地区に共通。「地域が衰退すると、町そのものが衰退していく。地域の拠点として公民館の充実を町は本腰を入れて考えるべき」。そんな声が高齢者の目立つ会場で聞かれました。実行委員の一人は「若い人が集まりこの文化祭を活性化しながら地区内その他の催しにも参加する体制ができれば地域の活性化につながっていく。この文化祭を野上一番のお祭りにしたいと思っています」。

育児上手は分別上手

SCRAP

ゴミ分別の基礎を知り、正しい分別の意識付けをしようと育児サークル「チャムチャムクラブ」の環境学習会が11月28日に保健センターで行われました。

集まったのは7人。おもちゃなど複数の材質で作られたものの分別をはじめ日頃から戸惑うことが多いと話します。参加者はまず、役場側があらかじめ準備した様々な種類のゴミを分別する作業のシミュレーション。可燃物の仕分けはスムーズにいきましたが、第2（飲食物用以外のビン類）、第3（金属類）分別と進むと戸惑うケースもチラホラ。後からチェックをすると、昨年からはまった発泡スチロール分別では可燃物に分類すべきものが約4分の1混ざるなど、ゴミ分別に対する間違っていた理解がまだ多いことが伺えました。参加者は、おもちゃは知人に譲るなどを考えたうえで引き取り手がない場合はバラして可燃物と不燃物に分けることや回収業者の工程を増やさないようペットボトルは良く洗ってラベルをはがして出すこと、可燃物として捨てているものの中には古紙として再生できるものが混ざっているなど、分別ことのポイントを学習しました。一方、参加者からは蛍光灯、電池などの数の少ないゴミは近所がまとめて出すことや行政区単位の学習会が必要といった意見が出ていました。今後、「チャムチャムクラブ」では清掃センターなどの見学も検討したいとしています。

九重町内のゴミ排出量は2002年度頃をピークに減少傾向。その背景には、町内のゴミ分別が年々良くなっていることなどがあげられます。



自助 (Self-help) icon

ゴミ分別学習会に関する問い合わせは危機管理・町民安全課（☎76-3801）へ

収穫の喜びをみんなで

SCRAP



共助 (Cooperation) icon

今年も元気な声で「収穫の秋」です。郡内の障がいのある人たちの軽作業施設「わーくすたんぼほ」の芋ほりが11月17日に陣の内にある佐藤新八さん宅の畑で行われました。取り組みしたのは、陣の内上の地域づくりグループ「地域を考える会」。同会メンバーの高倉英俊さん（現会長）が障がいのある人のために何かできないかと考えていたとき、「わーくすたんぼほ」が農作業のできる場所を探しているのを知り申し出たのが始まり。それから5年、施設利用者にとってはすっかりおなじみとなっており、毎年この日を待ちわびるだけでなく、高倉さんたちにとっても楽しみを取り組みとなりました。お互いの名前も覚えめました。

今年は、同会関係者4人や施設利用者13人などが参加。約5アールの畑に植えられたサツマイモの収穫をしたほか「考える会」の準備した焼き芋と牛乳を楽しみました。この日収穫されたコンテナ5箱ほどのサツマイモは施設に持ち帰りスイートポテトなどに、「ずっと続けていきたいと思っています。これからは一緒に苗を植えてみたいですね」と高倉さん。「考える会」関係者も「みんなの声を聞くとやってよかったなあと思います」。

穏やかな秋日の中、収穫を喜ぶ声が澄んだ青空に響いていました。

布絵本作りに挑戦

SCRAP



ずらりと並んだアイデアがいっぱいの布絵本に、参加者は「わー、ステキ！」

布絵本作りの講習会が10月28日に保健センターで行われました。布絵本は、布にアップリケや刺繍などで絵柄をつけ、本の形にしたもの。絵柄に綿などを入れてふくらみを持たせたり、マジックテープやボタンなどを使ったりして動きのある絵柄を作ることができたりと、布ならではの工夫ができるのも魅力です。

母親クラブと母子保健推進員が合同で開催したこの日の講習には約20人が参加。福岡県須恵町で幼稚園などに布絵本をプレゼントする活動を4年前から続けている「布絵本杉の子」メンバーの三川縫子さんを講師に、布絵本を作るコツや注意点などの話を聞きました。

三川さんによると、初心者には型紙のついたテキスト本があるので、それを利用するのが簡単。また、既成の絵本を題材にしたものを作る際には出版者の許可を得るなど著作権上のルールを守るのも大事と話していました。

「布に印刷するのではなく、一針一針縫い込むことで生じる温かみが布絵本の魅力でしょうね。最近では古布をよく使います。作るのに慣れたらオリジナルの話で作るのもおもしろいですよ。土地に伝わる昔話を絵本にするのも良いのではないですか」（三川さん）

講習を受けた人たちは、今後布絵本を作成、訪問や事業の際に活用したいとしています。



自律のまちづくりに向けて、「自助」・「共助」に該当する取り組みには、このマークをつけています。

SCRAP

刺しゅうから広がる



江藤鹿永さん。とても元気な93歳です。



岐部容子さん。200色の糸を使用し約4ヵ月かけて作った作品と一緒に。

「岐部容子刺しゅう教室作品展」が11月17日から19日までトキハインタストリー玖珠店で行われました。この作品展は2年に1回開催されているもので、5回目となる今年は39人が150点の作品を出展。「見てもらうだけで上達するし、作品を見て心安らげてもらえれば」と作品展を始めたきっかけを話す岐部容子さん（梶屋）は、町内の公民館を中心に5カ所で開催。約40人に刺しゅうを教えています。

「小さいものから大きなものまで様々なものが刺しゅうで出来ます。その広がりを見ていると、見たいです。場内には壁飾りや掛け軸などの装飾品からバック、玄関マットといった実用品までずらり。その美しさだけでなく、色あせしにくく丈夫など実用性が高いのも魅力です。」

栃木県出身の岐部さんが刺しゅうに出会ったのが27年前。その後、夫・正純さんのふるさと九重へ移住。「こちらに来た時は、誰も知らなかった」と振り返る岐部さん、17年ほど前に教室を開いたのをきっかけに人の輪がどんどん広がっていきます。岐部さんは、「一番の財産は皆さんと知り合えたことです」。教室でも一番大事にしているのが「和」。刺しゅうだけでなく日常生活をより良くするためのヒントなどを話し合うのも楽しいと話します。

「作業中は、イヤなことでも忘れて集中できます。自分自身も体調を崩したことがあるんですが、刺しゅうのおかげで乗り越えることができました」とその魅力を語る岐部さん。生徒の中にも右手が不自由になり入院、真っ暗な世界にいたが刺しゅうを始めたことで回復、友だちも出来すべく救われたという人や、リウマチを乗り越え大作を仕上げた人の作品なども展示されていました。

当日の会場は大盛況。「うれしい。生徒さんが友だちを大事にしていることの現れですね」と岐部さん。その中でもひととき目を引いたのが93歳の江藤鹿永さん（川西）の作品。江藤さんが刺しゅうを始めたのが7、8年前というから80代半ば。見事な作品群に70代の女性は「歳をとったなあと思っていました。江藤さんから見ると、まだまだヒヨッコ（笑）。とても勇気がわいてきます」と話していました。

人生の

空手教室



勝利者へ



最近、注目されているのがインナーマッスル。外側の筋肉（アウトマッスル）に対して、内側の筋肉のことをいい、

日常のあらゆる動作の中で働き続け、すばやい動きには欠かせないもの。関節をしつかりと固定する役割もあり、肩こりや腰痛だけでなく、ダイエットにも効果的といわれます。インナーマッスルをきたえるに良いのがストレッチ運動、そして今回の主役、空手。

「空手は道具を使わないというの、実はとても大事なことです。無理に重いものを持つたりしないので、自分に出せるだけの力しか出せない。だから、100の力を次は101に、その次は102にと少しずつ体の無理にならないように向上させることができる。空手の良いところのひとつです。」

こう話すのは、九重文化センター1武道場で空手教室（玖珠正空太）を主宰する矢野正三さん。練習は週2回、準備運動に始ま

り、筋トレ、個人ごとの突きや蹴りなど基本練習、そして相手を立てた組み手と体系的なメニューが組み立てられています。

時おり笑顔が見られるなど、厳しさの中にも和気あいあいの雰囲気があふれた練習が約2時間。終えて帰るとき実にはすがすがしい気持ちになると矢野さんは笑います。

矢野さんが空手教室を始めたのが30年前。最初は小学校のグラウンドを借りて練習をしていました。

「当時は、鍛錬（たんれん）という意味合いが強くて、裸足で何キロも走るなんてことをしていました。冬はしもやけになるのですが、それが勲章だとさえ思っていました。自分自身も若かったし、板や瓦を割ったりして自分の力を誇示することに重きを置いていた面はありますね」
やがて、技量を磨くだけでなく、精神的な高みを目指すことに魅力を見出してきたと振り返ります。

「自分自身の中にある甘えを克服しながら、より良い自分へ向かう過程こそ空手の本質だと考えるようになりました。今は人生の終わりまで常に過程、年取っても努力し続けることが大事と思っています。まだまだ発展途上です（笑）」

練習内容も鍛錬という基本は大事にしながらも、より多くの人が参加できるように工夫。ケガをしないが鉄則。そのことをいつも肝に銘じて練習に臨んでいるといっています。

国内の空手道には四大流派があり、そのひとつ「和道会」に矢野さんの空手教室は属しています。「和」を何よりも大切に

にするこの流派。相手の技を力で受け止めるのではなく、いなしその上で攻撃に転ずるというスタイルからもそのことが伺えます。

「空手に限らず武道は常に相手を尊重し、礼儀を正しくし、その上で自分を磨いていくのが基本。練習や試合だけでなく、日々の活動でも相手を敬うこと



を常に忘れずにいれば、いろいろな人との交流を深めていけるし、現代社会に欠けている世代間や地域間の交流を深めることができ社会への貢献にもつながっていくと考えています」

外の筋肉に対してインナーマッスルがあるように、腕力だけでなく、常に冷静に物事の判断の見極めができ、いざというときは的確な行動に移せる。そんな精神的強みを兼ね備えた人こそ、真の空手の強い人だと矢野さんは話します。

「だから、体を動かすだけが練習ではなく、常日頃が練習。いろいろなことを体験しそれが履歴として頭に残ることが精神的強さにつながり、いざというときの的確な判断につながります。そういった自分の財産となる物事への向かい方をぜひ空手から学んでもらいたいと思っています」

現在、教室に所属しているのは小学生から50代までの男女18人。これまでに延べで70人ほど教えてきました。

「空手は、すぐには成果が出ないものです。仕込み期間が長く、技法も多様かつ難しいものです。でも空手に取り組むことで、目先の勝ち負けにとらわれず、あきらめず、長い生涯を見渡して人生の勝利者になりたいと考えるようになります。そういった精神的な高みが困難を乗り越える力になっていると感



▲前列まん中が矢野正三さん

じるとき。そのとき初めて成果を実感するものと思っています。急速に変化する現代社会、そんな中でも「変えてはならないものは確実にある」と矢野さん。「人間疎外」が叫ばれる今日では「常に相手のことを考え、自分も磨いていく」武道の存在意義はむしろ高まっているとも指摘します。

「先人が遺した大事なものを失くさないよう、今後も指導のあり方をより学び、地道な努力をしていきたいと思えます」

空手教室の練習は、毎週火・金の夜8時から九重文化センター1武道場にて。月謝は無料ですが、上部団体の正空会と県連組織の会費は必要となります。

問い合わせは、矢野正三さん（☎78-18931）まで。

九重町母子保健推進協議会に全国表彰!



九重町母子保健推進協議会が社団法人母子保健推進協議会長表彰(団体表彰)を受賞することとなり、「健やか親子21全国大会」に出席の機会をいただきお礼を申し上げます。

この会長表彰は、発足より町保健師とこれまで母子保健活動に携わった母子保健推進員のみなさんの地道な活動の積み重ねが認められたもので、これまでがんばってこられた先輩に感謝する次第です。

全国大会は、11月21日に高知市で開催され、式典の中で個人36人と14団体が表彰されました。全国規模の大会に参加することは、「今の風に吹かれる」ように元気をもらいます。

受賞を励みにこれからもますます学習を深め、みなさんから頼りにされる推進員をめざしてがんばっていききたいと思います。

九重町母子保健推進協議会 会長 時松はるみ

歴代の会長

- 初代会長 佐藤 住子(平成8~10年度)
- 2代会長 若杉 廣子(平成11, 12年度)
- 3代会長 安藤千恵美(平成13, 14年度)
- 4代会長 穴井久美子(平成15~17年度)
- 5代会長 時松はるみ(平成18年度~)



▲時松はるみさん

■ 母子保健推進員の役割 ■

- ① 地域や家庭で起こっている母子の保健に関する様々な問題を把握する。
- ② ①の趣旨を県民保健福祉センター(保健所)や市町村に連絡する。
- ③ 妊娠届出など母子保健に関する各種の手続きをしていない人に対する指導。
- ④ 健康診査の未受診者に対する受診の勧奨。
- ⑤ 各種母子保健施策の紹介。
- ⑥ 県民保健福祉センター(保健所)や市町村の保健師の指導に基づく家庭訪問。
- ⑦ 各種講演会、障がい児への支援。

*私たちが母子保健推進員は、知り得た個人や家族の事情について絶対に口外しません。

▼ 九重町母子保健推進協議会の ▼

これまで

いま

母子保健推進協議会は、行政だけでなく地域住民が加わりお互いに支援しあい、さらに充実した子育て環境を作るため平成8年度に発足。母子保健推進員20人を中心に「家族みんなで子育て、特に父親の子育て参加を呼びかけよう」をスローガンに活動が始まりました。全出生児を対象とした「赤ちゃん訪問」や「妊婦とその夫のつどい」、「乳幼児と中学生のふれあい事業」、「子育て講演会」等を実施してきました。今年度からは、「ブックスタート事業」にも参画。「赤ちゃん訪問」の際に絵本が2冊入ったブックバックを手渡し、絵本を通しての家族のふれあいを呼びかけています。今回の表彰は、こういった10年間の地道な活動が評価されたもので、これまで活動に貢献した人は延べ53人に上っています。

「みんなで育てよう鐘輝く九重っ子」をめざし、子どもと保護者の健康や子育てを支援するために、町で依頼した母子保健に熱意のある20人が母子保健推進員として活動しています。

<主な活動>

●家庭訪問、相談活動

「こんにちは赤ちゃん」訪問を行い、健診や予防接種等の身近な子育ての情報をお伝えします。4ヵ月児・7ヵ月児健診で栄養士と離乳食づくりや子育ての話し合いにも参加しています。

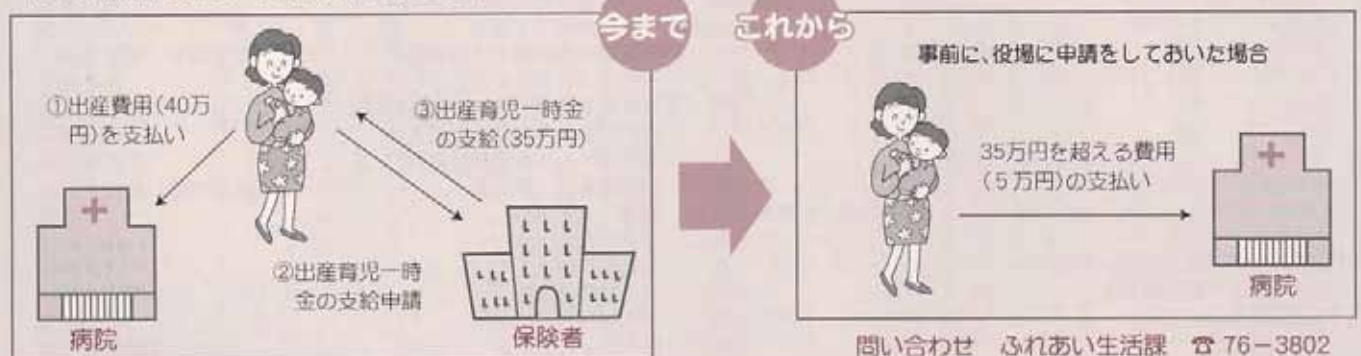
●子育て支援活動

妊婦さんやその配偶者の方々と、また乳幼児をもつ保護者の方々と交流したり、子育て講演会を開催したりしています。



事前の申請により、出産時に35万円までの費用を支払わずに済む仕組みを導入しました。

たとえば出産費用が40万円かかったとき、



勝利への始まり



おおいた国体ホッケー会場完成

2008年に県内で行われる「チャレンジ！おおいた国体」で、成年男女ホッケーが開催される九重町。試合会場となる「活いきランド多目的グラウンド」の人工芝への改修が終わり11月23日に落成式がありました。

今回はられた人工芝は従来のものに比べ、耐久性が高く毛足が長いのが特徴。足への負担が少なく様々なスポーツに活用できるといえます。工事費は約6500万円。

した。

この日は記念試合も行われ、アテネオリンピック出場の名尾幸美さんを擁する森クラブ（地元女子チーム）が九州選抜を相手に終始押し気味で試合を進め2対0で快勝したほか、玖珠クラブ（同男子）が立命館アジア太平洋大学を8対0で破るなど、国体に向け幸先の良いスタートを切りました。

玖珠郡は「一村一スポーツ」に指定されるなど、ホッケーが県内で最も盛んなところ。国体候補選手も多数おり、その中の一人は新しいグラウンドについて、「天然芝に近い感触。早く慣れるようにここでの練習を主体にしていきたい」と話していました。

「九重の味」でがんばって

2008年に大分県内で行われる国民体育大会と全国障害者スポーツ大会。来県した選手・監督などを地元の旬の食材を使ったオリジナル料理でもてなそうと「アイデア料理コンテスト」が県内で行われています。その九重町代表に「九重蒸し」と「ブルーベリーチーズケーキ」が決まり、10月26日に保健センターで試作と試食がありました。

同コンテストの審査基準は、旬の食材を使うほか、栄養バランスや外見性が良いこと、調理時間が90分以内など。「九重蒸し」はキャベツやシイタケ、牛ミンチ肉などを重ね蒸したもので、それぞれの食材の旨みをたっぷりと含み視覚的にも美しく、6群に分類される栄養をすべて含んでいます。また、食べる分量も調整しやすく、冷凍もでき無駄が出ないのも利点。一方の「チーズケーキ」は町の新しい顔となったブルーベリーを使い、甘さを抑えるなど満腹でも食べられるものとなっています。



いずれも食生活改善推進協議会の協力を得て製作したもので、町では県のコンクールに出品するほか、本番に向け、選手などの宿泊所となる町内の旅館・ホテルに対し、今回の料理の取り入れについて提言していきたいとしています。

2008年に開催される「チャレンジ！おおいた国体」で九重町は成年男子・女子のホッケー会場となっています。



九重町図書館 新刊・新着図書案内



《児童書・コミック》

いのちのいろえんぴつ
はたらくくるまみちをつくる
輝きの季節
コーギピルの村まつり
地球のスイッチ
あたしんち 12
《一般書》
賢者たちのメッセージ
小説の一行目
図解心理トリック
世界の半分が飢えるのはなぜ？
なぜ変える？教育基本法
脳が若返る30の方法
外来生物事典

豊島加純
こもりまこと
ターシャ・テューダー
ターシャ・テューダー
吉澤到
けらいこ
光田秀
小説の一行目研究会
多湖輝
ジャン・ジグレル
辻井喬
米山公啓
DECO編

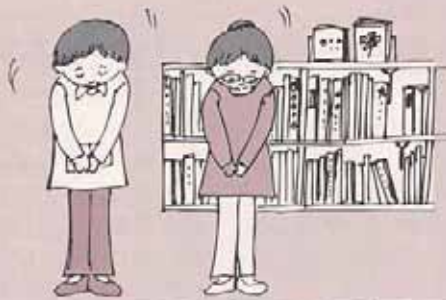
迷宮レストラン
上手に縫える着物の仕立て方
ツリーハウスで遊ぶ
帆足麗子作品集 花の香袋
モモカフェレシビブック
2000年間で最大の発明は何か？
カウンターから日本が見える
フェルメール全点踏破の旅
迷宮美術館 第2集
恋空 上・下
中原の虹 1
狼花
ひとつ灯せ
ヘヴンリー・ブルー
ケセラハバサラン

河合真理
野村辰雄
ポーラ・ヘンダーソン
帆足麗子（著者寄贈）
金子純子
ジョン・ブロックマン
伊藤洋一
朽木ゆり子
NHK「迷宮美術館」制作チーム
美嘉
浅田次郎
大沢在昌
宇江佐真理
村山由佳
大道珠貴 他

2006年をふりかえりました。

ほんの森
12月号

皆様
今年の 本に
親しんでいただけ
ましたか



今年も図書館の
ご利用
ありがとうございました。

Q. 今年の大きな出来事といえば...



A. 系会本のよみかきおせをいたしました。
ありがとうございました。10人の
ボランティアの方が名刺をあげて
下さり、現在
毎月第三土曜日に、よみかきおせを
おこなっています。



おんきこね〜



ブックスタート
でも
おこなって
います。

Q. 今年 図書館の
人気の
あった本は...



A. この本連
かほ?

左側 右側
「おはなはらさん 東京タワー
夕陽のコード」
明日の記憶 陰日向に咲く
人は見た目が9割
国家の品格
ハクミとクローバー



映画化された
本が多かったですね。
新書も
元気でしたね。



Q. 良かったことは?

A. 本のリサイクル市は多岐の方に
来たことも、おかげで
書庫もすっきり。

A. この本面白かった。
またかりますよと
言ってもらった時...



おもしろかった!

Q. 困ったこと、悲しかったことは?

A. 本の返却期限を守らない人がいます。
A. お菓子のゴミ、ペットボトルなどのゴミが
捨てられていることがあります。

A. 本の石炭煙草がみつかる
ことがあります。



飲食厳禁です。



悲しい!

来年も利用者のための
読書の幅を更に
広げられるよう努力します。



どうぞ
おあなを!

お知らせ
年末年始の図書館休館日
12月28日(木)~1月4日(木)

県立盲学校高等部生徒募集

教育内容

普通教育、または職業（あんま・はり・きゅう）教育
出願資格

両眼の視力がおおむね0.3未満の人。または視機能障害が高度なうち拡大鏡等によっても通常の文字・図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の人。

出願期間 (前期) 2月2日(金)～9日(金)
(後期) 3月7日(水)～9日(金)

募集学科・試験月日等のお問い合わせ、願書の請求などは、県立盲学校教務係(☎ 097-532-2638またはFAX 097-532-2636)まで

県立日田高等技術専門校 入校生募集

科目 情報ビジネス科・建築科・造園科
(定員は各20人)

期間 平成19年4月から翌年3月まで
授業料は一切無料(教科書等の実費は必要)
募集期間 平成19年1月4日(木)～1月31日(水)
問い合わせ先(願書提出先)

大分県立日田高等技術専門校 ☎ 0973-22-0789
日田公共職業安定所 ☎ 0973-22-8609

平成19年1月1日現在に償却資産(固定資産税の課税対象)をお持ちの方は、申告が必要です。

会社や個人で工場や商店などを経営しておられる方が、その事業のために用いることができる機械・器具・備品等の有形固定資産を償却資産といいます。

その内容を例示しますと、①構造物(煙突、鉄塔、舗装工事など)、②機械及び装置(旋盤、ポンプなど)、③船舶、④航空機、⑤車両及び運搬具、⑥工具、器具、備品、(測定工具、机、いす、ロッカーなど)などの事業用資産です。

ただし、取得価格20万円未満又は耐用年数1年未満の償却資産は原則として課税対象とはなりません。

このような事業資産をお持ちの方は、平成19年1月1日現在の資産所有状況(資産の種類、取得価格、取得時期、耐用年数など)を平成19年1月31日までに役場税務課まで申告していただくことになっています。

家屋(固定資産課税対象物件)の取り壊しをされた方へ

固定資産税(家屋)については、毎年1月1日(賦課期日)現在において存在する家屋に対して課税が行われるしくみになっています。

したがって、平成18年中に家屋の取り壊しをされた場合(平成19年1月1日までに滅失登記を行った場合を除く)は、平成19年1月31日までに九重町役場税務課資産税グループまで届出をして下さい。

取り壊しの届出がなされないとそのまま引き続き課税対象物件として課税されます。

[申告書の備え付け場所及び問い合わせ先]
税務課資産税グループ ☎ 76-3803(直通)

町営住宅及び県営住宅入居者募集

募集住宅① 町営書曲改良住宅3戸
(3K・九重町大字松木156-1)

募集住宅② 県営松岡台住宅2戸
(2LDK・九重町大字右田3159-1)

申込期限 平成19年1月12日(金)

問い合わせ・申込先

建設課管理水道グループ ☎ 76-3811

— 個人事業者の方へ — 消費税の届出書の提出はお済みですか？

現在、消費税の免税事業者の方で、平成17年分の所得税の確定申告等において、消費税の課税売上高が1千万円を超えた方は、平成19年分は消費税の課税事業者となります。

この場合、「消費税課税事業者届出書」を速やかに納税地の所轄税務署長に提出することが必要となります。

また、平成19年分が課税事業者となる方で、新たに簡易課税制度の適用を受けようとする方(平成17年分の消費税の課税売上高が5千万円以下の方に限られます)は、「消費税簡易課税制度選択届出書」を平成18年12月31日までに納税地の所轄税務署長に提出することが必要となります。なお、簡易課税制度の適用を受けた方は、事業を廃止した場合を除き、2年間以上継続した後でなければ、この適用をやめることはできません。

(参考)

災害その他やむを得ない理由が生じたことにより、被害を受けた課税事業者の方が、その被害により簡易課税制度の適用を変更する必要が生じた場合で、税務署長の承認を受けたときは、(2年間の継続適用の規定にかかわらず)簡易課税制度の選択をやめる(又は選択する)ことができることになっています。

日田税務署 ☎ 0973-23-2136

110

交通安全

平成18年町内地区別事故発生状況(累計、属地)

地区別	人身事故			物損事故	件数計
	死者	負傷者	件数		
東飯田	0	8	6	29	35
野上	0	21	11	44	55
飯田	0	30	14	128	142
南山田	0	27	20	64	84
計	0	86	51	265	316



(2006年11月末現在)

高3～大人のための 「冬期海外派遣参加者募集」

行き先はイギリス・カナダ・アメリカ・オーストラリア・カンボジア。派遣時期は平成19年2月～3月。

小・中・高校生対象の 「春休み海外派遣事業」

行き先はオーストラリア・ニュージーランド・カナダ・イギリス・アメリカ・フィジー。派遣時期は平成19年3月～4月。

問い合わせ (財)国際青少年研修協会 ☎ 03-3359-8421
E-mail→info@kskk.or.jp URL→http://www.kskk.or.jp

無料日曜遺言公証法律相談

予約制 平日に事前電話受付します。
(予約電話番号 0973-24-6751)

相談日 (いずれも日曜日)

1月分は8日と21日 2月分は4日と18日

場 所 日田公証役場

(日田市田島2丁目 日田市役所前交差点南東角)

相談内容 遺言のほか、相続、高齢者等の財産管理、土地・建物の賃貸借、金銭貸借、離婚、尊厳死宣言、会社定款など

製造事業者のみなさまへ 工業統計調査にご協力ください。

工業統計調査を平成18年12月31日現在で実施します。工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動状況を明らかにすることを目的としています。調査結果は、国などの行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材などで広く利用されています。

調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

みなさまからご提出いただく調査票の内容についての秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

経済産業省・大分県・九重町

問い合わせ 企画調整課 ☎ 76-3807

玖珠郡で働く人々の健康相談会

日 時 平成19年1月19日(金) 13時～15時

場 所 玖珠町商工会(玖珠町帆足)

問い合わせ 日田玖珠地域産業保健センター

☎ 0973-23-8500

今月の 年金相談

日 時 12月27日(水)10:00～15:00

場 所 九重町役場1階・102会議室

大分県立聾学校高等部入学選考

募集学科・定員

学科→産業工芸科(工芸科)・被服科・理容科

定員→本科・専攻科それぞれ8名

応募資格 聴覚に障がい有する人

募集期間 2月9日(金)～16日(金)

*後期入学者選考も予定されています(3月)。

入学査料は無料です。

詳細は県立聾学校(☎097-543-2047 FAX097-546-2111)まで。

調理師の方へ

働いている調理師は2年に一度、就業届を出すことになっており、今年度は届出の年となっています。

届出の必要な調理師

- (1) 給食施設
寄宿舎・学校・病院・事業所・社会福祉施設・介護老人福祉施設・矯正施設
- (2) 営業施設
飲食店・魚介類販売・そうざい製造、その他営業施設

平成18年12月31日現在の状況を、平成19年1月15日までに、就業地を管轄する保健所に届け出てください。届出用紙は保健所にあります。

問い合わせ先

日田玖珠県民保健福祉センター玖珠保健支所

☎ 72-1150

平成18年医療関係届出等について

日本国内に住む医療関係免許を持っている方は、2年ごとに氏名・住所等届出票に記載されている事項を届け出ることになっており、本年度はその年になっています。

対象者 医師・歯科医師・薬剤師・保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士

平成19年1月15日までに就業地を管轄する保健所(玖珠保健支所を含む)へ提出してください。

* 医師・歯科医師・薬剤師の免許をお持ちの方は、現在就労されていない場合も届出票を提出することになっています。

問い合わせ

日田玖珠県民保健福祉センター玖珠保健支所 総務衛生課

☎ 72-1150

今月の納税

【国民健康保険税】

納期限12月28日

【固定資産税】(第4期)

幸せになるうね



No.131

一番の笑顔

はやいものです。12月——師走。みなさん、今年一年はいかがでしたか？いろいろなことがありましたね。

うれしいこと、悲しいこと、怒ったり、人生いろいろ（笑）山あり谷ありの人生。だから一生懸命生きていけるのですね。今年をふりかえってあなたの一番の笑顔は何でしたか？

私は、「信頼できる友人」を持つことができ、人権についてたくさん語り合えたこと。自分の考えを聞いてもらい、自分以外の考えを聞き「気づき」をたくさんもらうことができました。地位や立場ではなく、同じ人間として心を開き、信頼でつながっていく。それは、小さなことですが大切なこと。「自分をわかってくれる」。この信頼が大きな力になります。その輪が広がったこと——私の一番の笑顔です。古くからの友情を大切に、新しい友情を広げていきたいと思えます。

12月4日から10日までは人権週間でした。



隣保館は12月29日(金)から1月3日(水)まで閉館します。

九重町においても、12月7日（九重人権権上）に「輝く未来のために」をテーマに「第7回いのち・愛・人権フェスティバル」を開催しました。

町民でつくる人権フェスティバルを通じて自分らしさ、あなたらしさ、を認め合い人権について考えることができました。

「人権」——すべての人が幸せに生きていく権利があります。自分も幸せに、そして自分のまわりの人も幸せに。

いのちを大切に作る気持ちや相手を思う気持ち、「人権」という種を蒔き、大きな実を実らせるために、みなさんと一緒に輝く未来をつくっていきましょう。

今年、「感謝」の気持ちを持つことを心に、過ごしてきました。

広報「人権心の扉」を読んでいただいた方々に感謝いたします。ありがとうございます。

では、よいお年をお迎えください。

隣保館人権啓発指導員 安藤千恵美

＝2006年12月・2007年1月休日当番＝

病院	月	日	医療機関名	住所	電話
病院	12月	23日	高田病院	春日町	72-2135
		24日	武田医院	森	72-0170
			矢原医院	野上	77-6121
		29日	北山田クリニック	北山田	73-2030
			長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143
		30日	玖珠記念病院	塚脇	72-1127
		31日	麻生消化器科内科医院	山田	72-7100
	1月	1日	友成(町田)医院	町田	78-8811
			井上医院	恵良	76-2711
			三池循環器科内科医院	塚脇	72-6101
		2日	友成(産婦人科)医院	塚脇	72-0330
			飯田高原診療所	飯田	79-2138
		3日	小中病院	塚脇	72-2167
		7日	高田病院	春日町	72-2135
8日	武田医院	森	72-0170		
	矢原医院	野上	77-6121		
14日	北山田クリニック	北山田	73-2030		
	長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143		
21日	玖珠記念病院	塚脇	72-1127		

歯科医	月	日	医療機関名	住所	電話
歯科医	12月	23日	(日田)相良歯科医院	日田市	0973-24-0580
		24日	秋吉歯科医院	玖珠町	72-0421
		29日	中村歯科医院	日田市	0973-23-2228
		30日	はたの歯科医院	日田市	0973-22-7736
		31日	田吹歯科医院	日田市	0973-24-5510
	1月	1日	荒木歯科医院	大山町	0973-52-2022
		2日	近藤歯科医院	日田市	0973-24-6080
		3日	合原歯科医院	日田市	0973-22-5305
		7日	吉武歯科医院	玖珠町	72-0615
		8日	石井歯科医院	日田市	0973-24-6886
		14日	石崎歯科医院	日田市	0973-22-3041
		21日	(玖珠)井上歯科医院	右田	77-6851

獣医	月	日	獣医師名	電話
獣医	12月	24日・31日	佐藤 獣医	77-6448
	1月	3日・20日・28日		
	12月	23日・30日	山本 獣医	78-9101
	1月	2日・7日・14日・27日		
	12月	29日	甲斐 獣医	76-3324
	1月	1日・6日・13日・21日		

★都合で変更する場合があります。

玖珠消防署：● 救急は119番 ☎72-2141
● 火災の確認は ☎72-5100

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3409
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

歳時記

季題

1月号

「初につく新年の季語」

「雪」「冬木立」

(12月22日締切)

2月号

「雪」「梅」

「日脚伸ぶ」

(1月25日締切)

「雪」より早く取りまします。
「梅」より早く取りまします。

今月の季題

「暮れ早し(短日)」

「賀状書く」「年の暮れ」

短日やもう一針のタビの底

八十路坂今年迄かと賀状書く

年の暮れ庭師鉢の音高し

短日や順番待ちの大吊橋

短日やフル回転の洗濯機

暮れ早し猫の手も欲し今日あした

暮れ早しすれ合う人も小走りに

年毎に減りゆく友に賀状書く

一枚に疎遠を詫びて賀状書く

年の暮れ空くじ無しのくじを引く

しきたりを少しくずせり年の暮

街頭でチャリティ募金年の暮れ

老夫婦平凡に生き年の暮れ

年の暮孫へのみやげ集めおり

山壁に見し短日の翳りかな

「短日やもう一針のタビの底」もう一針が短日によく効いている。「八十路坂今年迄かと賀状書く」八十路坂を一步一步確実に登る。「年の暮れ庭師鉢の音高し」鉢の音が年の暮れにマッチ。どの句も季語に相応しい一つの物事に絞ってズバリ表現している所が旨い。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報グループまでご応募を。なお、応募作品は返却しません。

佐藤 節代

松本まち子

井上 マキ

湯浅加代子

藤澤 節子

原田 孟一

小野ミツノ

佐藤 元八

清竹 勇藏

小野十三日

伊東 匡子

穴井久美子

赤峰 幸子

森高マサヨ

選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 147

地名を歩く 栗野(8)

九重町文化財調査員 甲斐素純

前回「惚れ地蔵」の紹介をしていて、ページが終わったので、その続きをする。惚れ地蔵の側にある自然石については、地元のある古老古後完氏の文章を借りて前回記した。ではその本体については、次のように紹介している。

一方地蔵の本尊俗名「リン女」は、元禄六年(一六九三年)の死亡とある。時恰も産金最盛期であり、日田代官所の詰所もあつたであろう。上方より下降の産金技術者屋方、女郎屋も何軒か有るのは勿論のこと、一杯飲

屋・鍛屋の五・六軒、石臼作りの石屋も数軒、鉦夫等の相部屋、豆腐屋に魚屋等々、牧口町八十余軒は極めて賑やかな町風景であつたであろう。こうした環境の中にあつて、寄る辺なく、下の病で淋しく死んで去つた遊女リン女は、臨終に当り、細々と落えた金子を村人に与え、村に一朝事ある時に役立てて欲しいと言ひ残して死んでいった。たまたま井手全戸が焼失する大火があり、リン女の芳志が村の復興に大いに役立ち、村の人たちのリン女に対する報恩の気持がリン女の碑となり、牧口町の南端埋葬地三四三番地に安置された。

下の病に御利益ありとしては、参拝者も参りづらからうとして、惚れ地蔵とした。村の人たちは、実に人の心をくむに惜いまで妙を得ている。御利益の程は聞いていない。

これまで(1)〜(8)回に亘つて栗野を紹介したので、そろそろ他地域へタイムトラベルしてみたい。その前に、栗野には歴史的地名が多々残つており、地名がその地域の歴史を物語つている。旧南山田村が作成したものに、明治二十三年三月の「字及び地番号新旧対照表」がある。



室の城

それを見ると、旧栗野村、引治村、菅原村、町田村が合併して南山田村が成立した際の史料で、南山田村内に二四六六の旧字があり、それが地租改正で二二七に整理統合された。約八五%の地名が、土地台帳などの公文書から消えたことになる。

例えば、栗野本村の入口、森農機の背後地を「字広長」と言うが、この中に旧字は計十六あつた(木ノ下・落水・穴井ノ鼻・竹ノ下・中城・室ノ城・神ノ坂・道ノ下・高岸・堂ノ前・向ノ城・円当寺・足門・広長・石原田・若市)。どれも、一つ一つ由緒のある地名である。段々とこれらの旧字が、古老の記憶から消えさるのには残念である。

(来年からは「右田」へ、時空を超えて・・・)

人の動き

弔慰

お悔やみ申し上げます

おなまえ	年齢	行政区
佐藤 ツ子	94	滝上
河津 アヤ	85	川西
野上 道雄	76	物見
藤原 八郎	79	見良
石井 ハマ	94	粟野
帆足 定夫	87	書曲
穴井 良一	69	下旦
篠原 ミヨ	88	桐
永樂 雄幸	77	物見
江藤 スエ	78	潜
武石 フミ	78	中村下

11月1日～11月30日届出分 (敬称略)

人口と世帯

人口	11,484 人 (- 11)
男	5,452 人 (± 0)
女	6,032 人 (- 11)
世帯	3,929 (+ 1)

() は前月との増減

おめでとうございます

出生

おなまえ	性別	保護者	行政区
飯田 拓海	男	憲治	中坂
小野 涼太郎	男	泰典	田中
廣田 海滯	女	和弘	菅原本村
佐藤 優菜	女	秀一	栗原
佐藤 隼輔	男	亮司	陣の内上
辛嶋 沙弥	女	和弥	潜石
吉田 拓也	男	弘之	野矢

花火・ザ・宝泉寺

1月13日(土) 宝泉寺温泉特設会場
よる 7:00～
どんと焼き(8:30～)、バザー、郷土芸能ほか
花火(仕掛けは8:15～、打ち上げは8:45～)



年末年始の休みについて

- * 九重町役場は12月29日(金)から1月3日(水)まで休みとなります。
- * 玖珠清掃センターは、12月30日(土)午後から1月3日(水)まで休みです。ごみ収集は12月31日(日)から1月3日(水)まで休みです。年末は大掃除などで大量のごみが清掃センターに持ち込まれ混雑しますので、早めの持ち込みをお願いします。なお、ごみの分別は、各家庭に配布した「保存版ごみの分け方シート」か「人権・健康・環境カレンダーの最後のページ」をご覧ください。
- * 九重文化センター内の施設は12月28日(木)から1月4日(木)まで休みです。活きいきランドの体育施設も同じ期間すべて休みとなります(野球場は3月末日まで休み)。
- * 温泉館「見晴らしの湯」は、12月31日(日)は17時閉館となります(受付は16時で終了)。1月1日(月)は休み。1月2日(火)から通常営業となります。
- * 九重「夢」大吊橋は12月31日(日)、1月1日(日)の2日間休みとなります。1月2日(月)からは通常営業です。



“夢”の世界へ

九重「夢」大吊橋の新しいポスターが完成しました。
デザイン・印刷会社4社があらかじめ作成した試作品の中から、11月21日に行われた審査会で決定したもので、選ばれた作品は、紅葉の中の大吊橋を中心に据え、遠くに九重連山も見渡せるなどスケール感が抜群。「天空の散夢道」というキャッチコピーと、橋を横から見た姿の枠を下部に設け橋を眺める人のシルエットを配置。そこで橋の特徴を説明させるなど、橋の魅力が詰まった作品となっていることも評価されました。
町ではポスターを500枚作成。各地で行われるイベントなどの際に使用します。

1月の お知らせ 町長と語る ふれあいタイム

1月13日(第2土曜日)
1月27日(第4土曜日)
午前10時～午後4時(日中開催)
場所は町長室です。お気軽においでください。

もんじ

- 九重「夢」大吊橋開通1ヵ月 2・3
- ニューススクラップブック 10～13
- 高橋裕二部さん環境大臣表彰 4
- 空手教室紹介 14
- 帆足三郎さん県知事表彰 5
- 保健(母子保健推進協議会全国表彰) 15
- 税務課証明書は総合窓口で 6
- 国体ホッケー会場完成 16
- 九重ふるさと祭り/119 7
- 図書館がより 17
- 映画の中の九重町/ポニーと九州一周 8
- くらしの情報 18・19
- 映画の中の九重町/ポニーと九州一周 8
- 飯田高原観光協会の料理研究 9
- 人権/休日当番/歳時記/時間旅行 20・21

編集後記

● 予想以上の1ヵ月「夢」大吊橋のその後をまず、取材で一番驚いたのが飯田公民館での出来事。ここは臨時駐車場から吊橋までの途上にあるのですが、ピーク時の1日でトイレが100人待ちの行列が出たそうです。確かにトイレ待ちの行列がずっとできていました。そこで1人1回につき平均どれくらい使うのか疑問に思い調査。ある集計によると60～80センチ。これが少ないか少ないかはケースバイケースでしょうが、仮に1人当たり60センチ使ったとしても、公民館では当時、1枚重ねに比べ使用量が節約できる2枚重ねタイプを使っていたと判明。これが全長30メートルなので、トイレあたりの使用者数は50人、これを50人に男性の小用を加味すると、飯田公民館の1日あたりの使用者数は4000人を超えていたことが想像されます。トイレ問題は町の対策本部でも大きなテーマとなっています。● 混雑する大吊橋周辺で感心したことのひとつは観光客のみならず、地元の方々も、ピーク時は臨時駐車場から1キロ前後を歩いて、さらに3時間ほど待つとやっと橋を渡れるという感じでした。もちろん多くの方は疲れた感じでしたが、(長い待ち時間は承知の上で)にこやかに臨時駐車場から吊橋まで歩いていき、帰ってくる人も意外と多いのに気付きました。それを見ていてふと、大吊橋に行くのは登山の感覚に近いのではと思いました。服装もなれなくそれ風だった。登山も爽快な眺めを得るまで相当な苦勞をするけど、好きな人にとってはたまらないもの。観光施設のようでも、そうでないような、絶妙な立ち位置が大吊橋の良さで、それをうまく生かすことが長くみなさんに愛されるものになる秘訣かと思えます。その点からして4Pで取り上げた高橋さんの指摘、「大吊橋と夕陽の遊歩道は同じ」は鋭い。● 今年もあとわずか。表紙は「寿大学のみなさんのお弁当」で締めくくりです。予言なしの突撃取材で撮ったのですが、すばらしい内容にほんとうにびっくり。今年最後の特大ネタとしましょう。では良いお年を。

Kochi-T

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ